

—潤いを未来に—

たかととき川

いま昔



THE TAKATOKI RIVER
INFORMATION

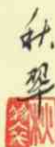
特集…町衆、商人が生み出した人間賛歌
長浜曳山まつり

1999 ● Vol. 11

今日は今日の 水音にして あたたかき

俳句/谷口秋翠
撮影者/富 行徳 撮影場所/木之本町

あたたかき
水音にして
今日は今日の



丹生ダム広報誌 季刊 たかととき川 いま昔 VOL.11

発行 ● 水資源協会

監修 ● 高時川治水対策促進協議会
水資源開発公団丹生ダム建設所

丹生ダムホームページ
URLアドレス
http://www.lijnet.or.jp/niudam

ミニコラム ユズリハについて

第10号で特集した「余呉のお正月」に関して寄せられたハガキの中で、ユズリハに関するものが多数ありましたので一部を紹介したいと思います。

ユズリハはトウダイクサ科の常緑樹で、葉の柄が赤いのが特徴です。このことから地方によってはツルノハ(タンチョウツルの頭が赤いことから)とも呼ばれています。(光琳社出版「草木の本」より)

ユズリハが余呉ではお正月の飾りに使われていることは前回紹介しましたが、読者の方から、ユズリハは「毒よけ」の意味に使っているところもあるようで、鏡もちの下に葉を敷いておくとなずみがこないということです。

お正月の飾りにユズリハを使うのは湖北だけの風習ではないようですが、その土地により使われ方が様々であるようです。皆さんのふるさとではどのような使われ方をしているのでしょうか?



EVENT

イベント紹介

4月24日(土) ●時間/9:30~15:00

食卓を飾る春の山菜

●問い合わせ先/ウッディバル余呉0749-86-4145

5月22日(土) ●時間/9:30~13:00

東野山城跡の自然と歴史を訪ねて

●問い合わせ先/ウッディバル余呉0749-86-4145

6月26日(土) ●時間/9:30~15:00

陶芸教室

●問い合わせ先/ウッディバル余呉0749-86-4145

余呉町

6月中旬

横山岳山開き

●会場/横山岳 木之本町大字杉野

●内容/登山・祈願法要

●問い合わせ先/杉野山の会 0749-84-0386

木之本町

5月9日(日)

賤ヶ岳まつり

●会場/賤ヶ岳リフト乗り場周辺、賤ヶ岳山頂、余呉湖畔(自然休養村管理センター)

●内容/戦没者法要、賤ヶ岳給馬祈願法要、ファミリースタンプラリー、山頂での宝探しなど。

●問い合わせ先/木之本町役場産業課観光係 0749-82-4111

長浜市

5月8日(土)・9日(日)

第7回びわ湖長浜ツアーデーマーチ

●会場/長浜市・湖北一帯

●内容/美しいびわ湖の風景を見ながら、湖北一帯を歩く。

●問い合わせ先/びわ湖長浜ツアーデーマーチ実行委員会事務局

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様に素敵なプレゼントをお送りしています。

QUIZ

クイズコーナー

今回のクイズは…

長浜曳山まつりで、水神をまつり、船の形をしている曳山はなんと呼ばれているのでしょうか?
猩々〇(しょうじょう〇〇)

皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

【クイズ解答のあて先】

クイズの解答は、それぞれ〔住所・氏名・年齢・職業・電話番号〕を明記の上、下記のあて先までハガキでお送りください。また「たかととき川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてよろしくお願いいたします。

〒529-0522 滋賀県伊香郡余呉町坂口819

水資源開発公団 丹生ダム建設所

広報誌クイズ係

*クイズの解答の締切は平成11年4月10日(土) 付消印有効です。

「たかととき川 10号」のクイズ

お正月の飾りを作る時に、「家の世継ぎが絶えないように」との願いを込めて「ユズリハ」を使っています。さて、何でしょう?

【正解 ユズリハ】

前号のクイズに多数の応募ありがとうございました。抽選の結果、下記の方々が当選されました。今回もたくさんのご応募をお待ち致しております。

クイズ当選者 (応募総数 207通)

木之本町	藤本 藤子様	長浜市	野田 美代子様
高月町	松橋 和代様	長浜市	藤田 美恵子様
高月町	北川 登様	長浜市	堀 酉妃様
湖北町	田中 宜子様	長浜市	渡辺 信子様
びわ町	宮川 眞理子様	水口町	杉山 清次様

編集後記

今回の「長浜の曳山まつり」の特集はいかがでしたでしょうか?

みなさんよくご存知の曳山まつりも通説とは違う角度から見ると新鮮に映ったことと思います。今年の曳山まつりにはお弁当を持って出かけ、当時の町衆の気分浸ってみるのもよいのではないのでしょうか。

先日、県外に住んでいらっしゃる息子さんに「たかととき川」を送っているというお便りをいただきました。この時期は進学や就職等でふるさとを離れる方も多と思いますが、ふと故郷が懐かしくなったときに読んでみたくなる、そんな広報誌をこれからも作りつづけていきたいと思っています。

今回、初めての試みとして表紙に写真を掲載してみました。いかがだったでしょうか?みなさまのご感想をお待ちしております。